

Q 若者が定住する町づくりは

浜西 金満 議員

A 住みやすい施策を考える

市長

Q 江田島市次世代育成支援行動計画で、市長は、少子高齢化と人口減少の進行の歯止めの対応を図っておられます。広島市・呉市への交通アクセスも向上していますし、自然度の高い豊かな生活環境・定住環境なの

で、人口流出の歯止めはできると思います。市の分譲地の販売にも力を入れ、若者人口を増やすための施策を、どのようにお考えか。

A すぐれた自然環境、広島市・呉市に近いという条件を生かし、住みやすい地域づくり、多彩な交流づくりを進めています。交流人口を増やし、にぎわいをつくりだし、地域を活性化して江田島市をアピールし、交通アクセスを充実させ、若い人が住みやすい施策を考えていきたい。



▲海が見える日当りのよい大君・久保田団地

Q 国道に歩道の新設を

林 久光 議員

A 関係機関と協議する

市長



▲歩道の設置が望まれる国道487号

Q 市街地の国道で、一部歩道が設置されていない区間がある。高田地区で、ここは直線で見通しもよく、車はかなりのスピードで走っており歩行者は非常に危険な状態にある。特に市営住宅

出入口は、歩道も横断歩道もない。付近を通る通学路も歩道がないため、ほかの市道をう回している。

A 新年度セクションを強化して、安全・安心の施策を専門家にやらせたい。総合的に道路の環境あるいは子供達の安全、そして、高齢者の生活上での安全確保等に取組み。未然に事故を防

ぐ上にも、歩道の確保は是非とも必要である。地元住民の方と連携し、関係機関と協議して進めたい。

Q 市税等の収納率の向上は

部谷 健司 議員

A 職員全員で鋭意努力する

市長

Q 平成17年度予算上の滞納見込額(市民税・国民健康保険税等)は、いくらかあるのか。

A 滞納見込額は、11億3,772万円である。なかなか一挙には解決できないだろうが、正

直者が馬鹿をみる世の中であってはならない。

Q 収納率の向上にどのような対策を執行するのか。例えば、月一回滞納者特別徴収日を設定

A 滞納者の実態を把握する段階である。また、職員の徴収する心構えの意識改革をする。

Q 市長及び幹部職員が自ら滞納者の家に行つて、市の財政の苦しさを説明して、滞納金を1円

▼滞納対策に取り組む市民生活部滞納対策課



▲前早世浄水場(江田島町高須)

Q 海底管の更新を

太刀掛 隼則 議員

A 調査し計画する

市長



毎日の生活にきつてもきれいな水です。安全で安心した水の供給こそ、水道事業の使命であると考えております。そこで、質問します。

Q 老朽管の取り替え工事の進捗状況を。約60パーセントです。17、19年度にかけ、794メートル計画し、19年度以降は漏水の

状況をみながら計画していく。

Q 呉市天応からの海底管の耐用年数及び何年経過しているか。

A 耐用年数が40年経過しているので、近い将来敷設替えを行う必要があると考えている。

Q 水道料金245円は近隣市町村と対比して安いのか、高いのか。

A 近隣市町村と比較して高い方です。

Q 呉宮原浄水場からの分水価格はm当たりいくらか。

A 171・66円です。各家庭までの給水に係る諸経費等含めると、今の価格とそんなに変わらない。

おわびと訂正

前回発行の『江田島市議会だより創刊号』14ページの「一般質問Q&A」の市長答弁中、「シーサイド温泉能美の源泉を利用したケアハウス・・・」となりましたが、「シーサイド温泉のうみの源泉を利用したケアハウス・・・」の誤りでした。訂正しておわびいたします。